



# ひえだ

神戸市立稗田小学校  
令和3年5月29日  
6月号

## はきものをそろえる

はきものをそろえると心もそろう 心がそろうとはきものがそろう  
ぬぐとくにそろえておくと はくときに心がみだれない  
だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと 世の中の人の心もそろうでしょう



この詩は、長野市の円福寺の住職だった藤本幸邦（ふじもとこうほう）さんがつくった「はきものをそろえる」という詩です。

私が子供のころ、靴をそろえていないと父によく叱られたのを覚えています。身につけておかないといけない「躰」として父は私に教えてくれていたのだと思います。

さて、はきものをそろえる国は、あまりないのではないかと思います。私が、以前住んでいた国は、全くそろえるということをしませんでした。歩きながら脱いで家に入っていくという感じでした。それは、家だけでなく、たくさん人が集まる場所でも、まあ見事に脱ぎっぱなしという感じでした。そんな光景を目にすると、はきものをそろえるという行為は、すてきな文化のひとつだとつくづく思うものでした。

いつからはきものをそろえるという文化が日本に根付いたのかわかりませんが、永平寺の開祖である道元禅師は日々の修行の中に「はきものをそろえる」という行為を組み込んでいたそうです。はきものをそろえることは、「自分自身をみつめる」「自分の行いを振り返る」ということにつながると考えていたのでしょう。つまり、「はきものが散らかっていると心が乱れている。そろっていれば心が落ち着いている。」ということです。

本校では、トイレを使うときにスリッパを使うようにしています。休み時間等に、教職員がトイレを見て、そろっていないスリッパをきれいに整えています。まだまだ、子供たちには、スリッパをそろえることが定着できていませんが、それでもスリッパをそろえる指導とだまってそろえておくことで少しずつですが変わってきているのは確かです。スリッパをそろえるというほんのちょっとしたことですが、いつも、落ち着いた生活を送るには、このようなことをきちんと行うことが大切であると考えます。粘り強く、取り組んでまいります。

校長 亀井 優和

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月、5月、6月の学校行事等の予定が大幅に変更になり、ご迷惑をおかけしました。今、2学期、3学期の行事予定の見直しを行っています。決まりましたら、お知らせ致します。